令和７年度 決算報告

問い合わせ
市財政課 財政係　☎52-0064

市民の皆さんが納めた税金、国・県からの交付金、補助金などが、令和７年度にどのように使われたのかお知らせします。

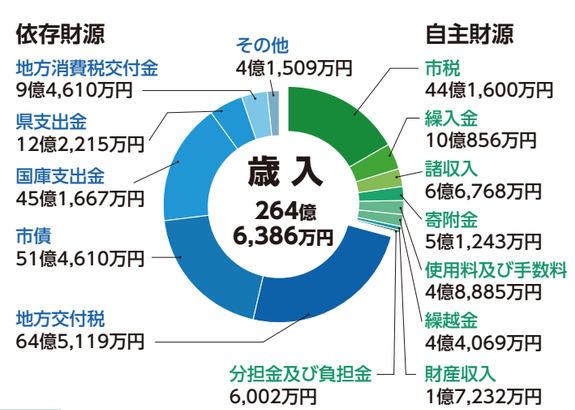
※ 四捨五入の関係で合計額などが合わない場合があります

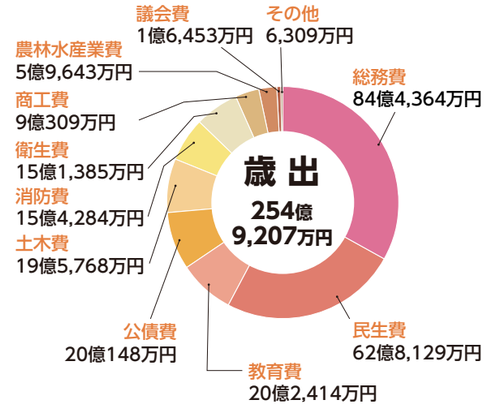
一般会計の決算状況

歳入（収入）は264億6,386万円で、令和６年度から33億5,339万円増加しました。これは、新市庁舎建設に係る緊急防災・減災事業債の発行増に伴う市債や道路橋りょうの整備に係る社会資本整備総合交付金など国庫支出金が増加したためです。

また、歳出（支出）は254億9,207万円で、令和６年度から28億2,229万円増加しました。これは、新庁舎建設事業をはじめ、いわて消防指令センターの総合整備に伴う釜石大槌地区行政事務組合分担金や道路新設改良事業などが増加したためです。

歳入と歳出の差引額９億7,179万円を令和８年度に繰り越しました。





用語解説

【歳入】 ▶**自主財源**…市が独自に収入するお金　▶**依存財源**…国・県から交付されるお金。市の借入金も含みます　▶**繰越金**…前年度から繰り越されたお金　▶**繰入金**…基金から一般会計に移したお金　▶**国庫支出金・県支出金**…特定の事業に対して国・県から配分されるお金　▶**地方交付税**…国から配分されるお金。使い道を市が決められます　▶**市債**…市の借入金

【歳出】 ▶**総務費**…他の費目に分類されない事業の費用（人事・企画・財政・戸籍・統計・交通安全など）　▶**民生費**…子ども・高齢者・障がい者福祉や生活保護の費用　▶**教育費**…学校教育、文化・スポーツ振興の費用　▶**公債費**…市債（市の借入金）の返済費用　▶**土木費**…道路、公営住宅、公園などの整備や維持管理費用

令和７年度の主な事業

ワーケーション推進事業（１億5,781万円）

関係人口の創出や地域経済の活性化のため、新たなワーケーション拠点施設「NEMARU PORT」の整備のため、管理運営を行う㈱かまいしDMCに対して補助金を交付しました。

新庁舎建設事業（43億8,612万円）

旧市庁舎の老朽化、狭あい化、分散化を解消し、住民サービスの向上、円滑な市政運営、防災拠点としての機能充足などを目的に整備する新市庁舎の建設工事を行いました。

道路新設改良事業（２億4,726万円）

歩行者及び車両の円滑な運行を確保するため、市道の改良、老朽化などにより劣化したトンネルの点検及び凍上災害の予防工事を行いました。

釜石大槌地区行政事務組合分担金（消防費）（13億427万円）

消防・救急業務の安定した運営に加えて、いわて消防指令センターの総合整備や消防救急デジタル無線の更新のために分担金を支出しました。

学校施設トイレ洋式化事業（9,492万円）

学校施設の長寿命化や児童の快適な教育環境の向上を図るため、甲子小学校の校舎内のトイレの改修工事を行いました。

市税の状況

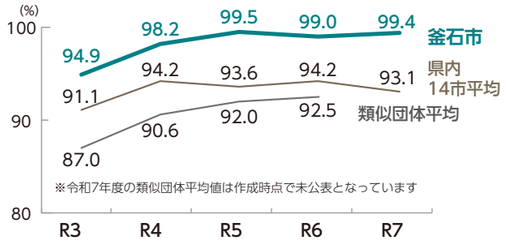
項　目		令和７年度 収入済額	令和７年度 徴収率	前年度比較 収入済額	前年度比較 徴収率
市税（一般会計）		44億1,601万円	96.9%	3,000万円 減	−0.2ポイント
	市　民　税	18億3,180万円	98.2%	5,306万円 減	0.0ポイント
	固定資産税	22億3,404万円	95.6%	2,683万円 増	−0.2ポイント
	軽自動車税	1億642万円	97.0%	224万円 増	−0.1ポイント
	市たばこ税	2億4,375万円	100.0%	600万円 減	0.0ポイント
国民健康保険税		4億4,350万円	87.0%	1,433万円 減	−1.0ポイント

市債現在高

会計区分	
一　般　会　計	220億6,130万円
水道事業会計	11億7,080万円
公共下水道事業会計	46億8,127万円
漁業集落排水事業会計	2億4,656万円
合　計	281億5,993万円

前年度から約29億813万円増加

経常収支比率



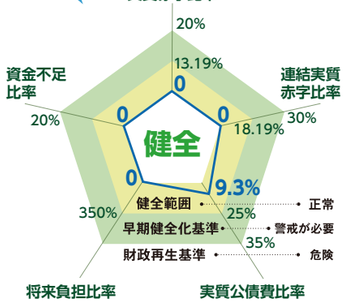
市税などの経常的に収入される一般財源が人件費や扶助費、公債費などの経常的経費にどのくらい充当されたかを示す経常収支比率は、令和６年度の99.0％から0.4ポイント悪化し、令和７年度は99.4％となりました。

これは普通交付税などの経常的な収入が前年度から約２億5,400万円増加した一方、近年の物価高や労務単価の上昇に伴う一部事務組合に対する負担金などの補助費などの増をはじめ、業務委託や施設管理にかかる物件費や維持補修費の増など、経常経費充当一般財源が前年度から約３億400万円増加したためです。

経常収支比率が高くなるほど、新しい事業などに使える財源の確保が難しくなります。

財政健全化判断指標

釜石市はすべての指標で健全



特別会計の決算状況

一般会計とは区別し、それぞれ特定の事業を行います。

会　計　名	収入済額	支出済額	収支差引額
国民健康保険事業	33億1,827万円	33億1,196万円	631万円
後期高齢者医療事業	5億4,896万円	5億4,867万円	30万円
介護保険事業（保険事業勘定）	40億8,664万円	40億8,610万円	54万円
介護保険事業（サービス事業勘定）	2,649万円	2,649万円	0万円
魚市場事業	547万円	547万円	0万円
合　計	79億8,584万円	79億7,870万円	714万円

企業会計の決算状況

一般会計とは区別し、独立採算により特定の事業を行います。

■水道事業

収益的収支	収入	7億1,715万円
	支出	7億733万円
資本的収支	収入	3億2,107万円
	支出	13億1,561万円

鵜住居地区の施設再編事業の完成に向けて取り組むとともに、水道水の安定供給のために老朽化した配水管やポンプ設備の更新に取り組みました。また、効率的かつ効果的な水道施設の管理運営に向けて、水道ビジョンと経営戦略の策定に取り組みました。

■公共下水道事業

収益的収支	収入	13億3,737万円
	支出	13億3,357万円
資本的収支	収入	2億9,889万円
	支出	5億5,647万円

上平田、小川、鵜住居町日向地区において管渠整備を実施し、下水道に接続できる地区を拡張しました。また、下水道施設の計画的かつ効率的な管理に向けて、ストックマネジメント計画に基づく点検調査と修繕改築計画の策定に取り組みました。

■漁業集落排水事業

収益的収支	収入	5,125万円
	支出	5,178万円
資本的収支	収入	1,102万円
	支出	1,866万円

水洗化率を向上させるための活動を行うとともに、費用の節減を行いながら、施設の適切な維持管理によるライフサイクルコストの低減に取り組みました。